



訓練を行う子どもたち

## 保小中高合同避難訓練

5月22日(金)、大方中央保育所・入野小学校・大方中学校・大方高校による「保小中高合同避難訓練」が行われました。午前9時40分に巨大地震が発生した想定で、園児・児童・生徒ら約570人が避難場所の錦野児童公園をめざしました。今年は高校生らの提案により、避難経路の一部を通行止めにするなど、より実践的な内容で実施しました。避難後には、高校生による講評や防災交流会あおいも行われました。

大方高校2年生の山崎蒼唯さんは、「保育所の子どもたちは一人では逃げられないので、どう安全に避難できるか考えた。車が横を通るのは怖かったが、地域の方も含めてみんなで助け合って避難できた」と話しました。



入野駅を清掃する参加者

## 入野駅・佐賀駅を綺麗に 黒潮町婦人会らが清掃活動

6月6日(土)、黒潮町婦人会の主催による土佐入野駅・土佐佐賀駅の清掃活動が行われました。この取組は以前より、ボランティア活動として毎年同時期に行われており、駅周辺の美化や地域住民同士の交流を目的に開催されています。土佐入野駅と土佐佐賀駅にそれぞれ集合をし、町婦人会のメンバーを中心に、駅で店舗を経営する事業者など、合計30名ほどが清掃活動に参加しました。

同会会長の酒井恵子さんは、「駅は町の玄関口、町の顔のような場所。皆さんで清掃をして綺麗にすることで、地域の人たち同士もひとつの輪ができる。これからも続けていきたい」と話しました。また、ボランティアで参加した小学4年生の横内海都かいとさんは、「思っていたより広い範囲だったけど、人もいっぱいいたので楽しかった」と感想を話しました。



体験の様子

## なかよし太鼓で園児ら交流 太鼓の魅力子どもたちへ

6月8日(月)、大方中央保育所で、太鼓屋松浦商店による太鼓の演奏が行われました。今回の演奏は、太鼓の魅力子どもたちに伝えようと、「なかよし太鼓」の取組として以前から開催されており、その一環として行われたとのこと。

当日は、大方中央保育所、南部保育所、大方くじら保育所、佐賀保育所の4園から年長の5歳児約40人が参加しました。子どもたちは「楽しい」と話しながら、太鼓を間近で見たり、力強い音や演奏に興味津々の様子でした。また、園児たちは、7月の夕涼み会に向けて練習している太鼓の演奏も披露し、元気いっぱい叩きました。太鼓屋松浦商店の松浦充長みつながさんは、「子どもたちに太鼓をもっと身近に感じ、楽しさを知ってほしい。子どもたちの演奏にも感動した」と話しました。



見学後の記念撮影

## セレッソ大阪が大方高校女子サッカー部の部活見学

5月15日(金)、一般社団法人セレッソ大阪スポーツクラブが来町し、大方高校女子サッカー部の部活を見学しました。交流人口の拡大や地域の活性化を目的としたスポーツ振興事業の一環として、同クラブから6年前より指導者を派遣いただいており、女子サッカー部の技術向上や競技力強化に向けた指導を行っていただいています。

当日は、部員たちが活気あふれる雰囲気の中で練習に取り組む様子を見学されました。同社専務理事の新村誠しんむらまことさんは、「以前から関わりがあったが、実際に見学するのは初めて。インスタグラムで部員が増えたことを知り、ぜひ見に行こうと思った。とてもいい練習環境だと思う。選手の皆さんには、楽しみながら活動してほしい」と話しました。